

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：亀岡市）

タイトル	介護サービスの充実
現状と課題	
<p>高齢者の増加に伴い、介護や支援を必要とする高齢者も増加することが予想される中で、介護保険を必要とする人に過不足ない介護保険サービスが提供できるよう、介護保険制度に関する事業者・専門職の連携体制が必要です。</p> <p>本市では、介護保険の認定者において、要支援1の認定率が全国及び京都府の認定率と比べ高い割合となっています。この状態の原因について、介護保険の適正な利用という面からも検討することや、事業者・専門職をはじめ市民へ介護保険の適正な利用の普及啓発が必要です。</p>	
第7期における具体的な取組	
<p>① 介護保険の適正な利用に向けた普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や老人クラブ・各種団体を対象とした介護保険制度の説明 ・全戸配布・市ホームページ等において介護保険制度の説明 ・スーパー等の商業施設で介護保険制度の普及啓発活動 <p>② 介護保険サービスの基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の理念や仕組みを周知する市民向けの説明会や学習会等の開催 ・市ホームページ等での情報提供 	
目標（事業内容、指標等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や老人クラブ・各種団体を対象とした説明会の開催 2回 ・全戸配布 年1回 ・市ホームページにおける市民向け介護保険ページへのアクセス数 年間 12,000件 	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> 説明会等の開催回数の把握、説明会でのアンケート・聞き取りの実施 市ホームページのアクセス数の把握 	

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：亀岡市）

年度	令和2年度
----	-------

実施内容

① 介護保険の適正な利用に向けた普及啓発

・認定結果「非該当」の人へ決定通知とともに市が独自に行う介護予防事業の案内を封入し、介護予防のきっかけや介護サービス以外の介護予防事業の利用を促し、安直に介護サービスにつながることを防ぐための普及啓発を行った。

② 介護保険サービスの基盤整備

・市ホームページ等での情報提供

自己評価結果

① 介護保険の適正な利用に向けた普及啓発

・対象者を認定結果が「非該当」の人に絞って介護予防事業の啓発を行った。
対象者：28人

② 介護保険サービスの基盤整備

・市ホームページ 介護保険ページ アクセス 5,259件（令和2年度）

課題と対応策

【課題】

・介護保険制度の利用を検討するなど介護サービスの利用に関心があり、また介護サービス以外での介護予防事業などへの参加も可能である「非該当」の人を対象者とし普及啓発を図ったが、身体機能低下を予防する機会があまり知られていない現状がわかった。

【対応策】

・より多くの市民に介護予防事業を含めて介護保険制度の周知や適正な利用を促すため、情報発信の機会を増やす。
・一般介護予防事業の充実を図り、「非該当」の人が「参加してみたい」と興味関心を持つ介護予防の取組を企画・実施する。
・市民に介護保険制度を浸透させるには時間を要するため、継続性のある情報発信の方法をとる。
・市ホームページの介護保険ページは、市ホームページのリニューアルに合わせて、わかりやすいレイアウトや説明文にする。

